

ロボット利活用推進WG

ニーズ/シーズ課題整理SWG

2025.6 発足予定

**立命館大学/チトセロボティクス
川村貞夫**

シーズ/ニーズ課題整理SWG概要

課題

- ① 大学など研究開発側に、ユーザニーズ情報が十分に伝達できていない。
- ② ユーザ側に、研究開発シーズ情報が十分に伝達できていない。
- ③ 表層のニーズ/シーズ情報では、本格的な社会実装が困難となる。

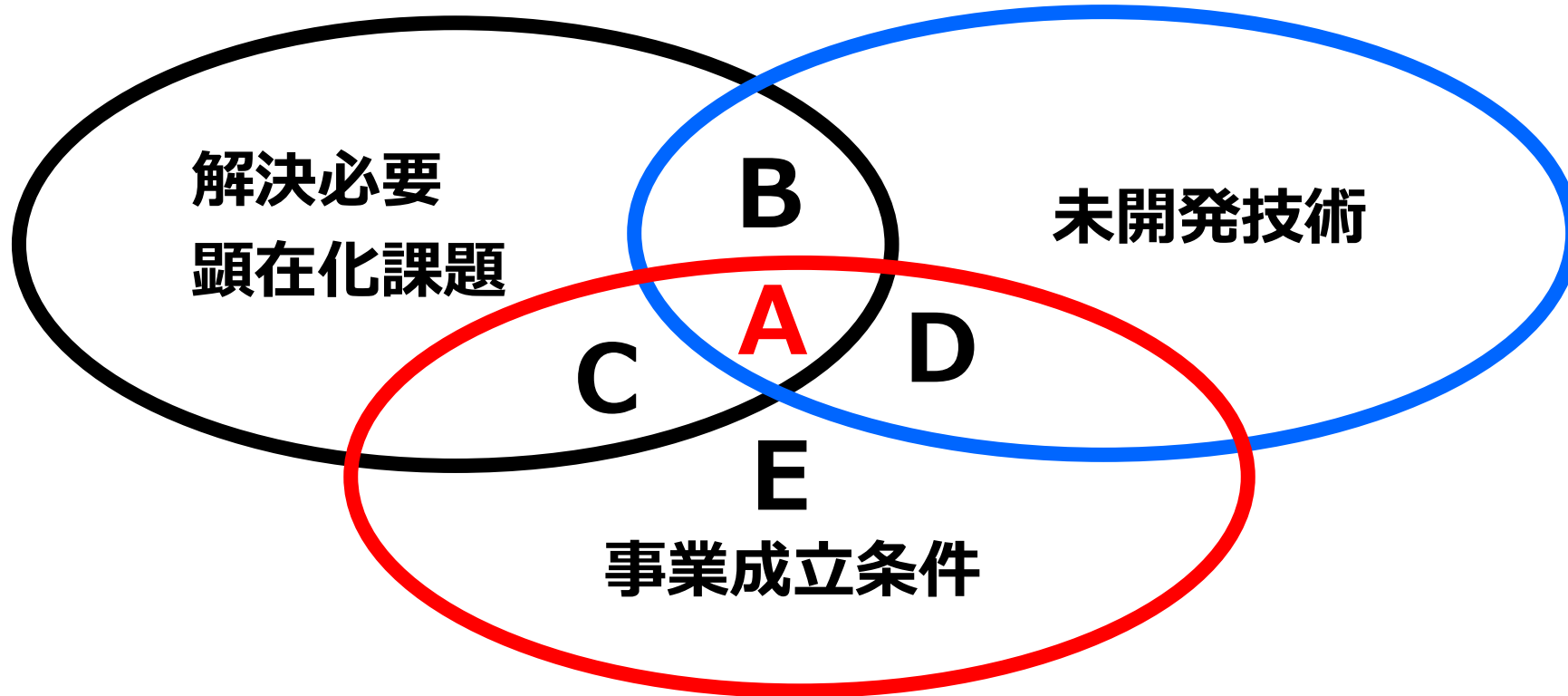
解決法

- ① 研究開発側とユーザ側の相互情報交換を活性化する。
- ② 社会課題の本質を分析して、解くべき問題を明確にする。

目標

- ① 相互情報交換からの社会課題解決型研究開発数の増加
- ② 研究開発成果の社会実装数の増加
- ③ 解くべき問題のプロジェクト案提案

問題Aの明確化に取り組む



A: 明確化すべき問題

B: ニーズ/シーズのマッチングで成果であっても事業化できない成果

C: 既存技術で事業化可能で、多くは既に企業が実施済み

D: ニーズ創生で新市場を形成できるが、これだけでは解決必要顕在化課題解決はできない

E: 既存技術で事業化成立するが、解決必要顕在化課題解決できない

活動内容

[1] ステアリングボード会議 (SB会議) 2ヶ月に1回

- ・定例会議内容決定 発表者プログラム決定 情報提供者発掘
- ・公開シンポジウム内容決定
- ・課題整理分析 例：ハンドなどの課題整理結果, システム化課題

[2] SWG会議 2ヶ月に1回

- ・産からのニーズ情報/学からのシーズ情報の発表
- ・産学連携の成功例紹介 ・報告書作成 HP一般公開

[3] 一般公開シンポジウム 年1回

- ・定例会議などで重要な内容を選別

[4] 学会との共催イベント 年1, 2回

- ・産業界からのニーズ情報提供 ・産学連携の成功例紹介・検討課題提案

一般公開シンポジウム

2026年4月23日13:00-17:00

RRI会議室（高田馬場センタービル12階）オンライン併設

プログラム 司会 IHI 技術開発本部 技監 村上弘記

13:00-13:05 サブワーキング概要説明 立命館大学特別招聘研究教授/チトセロボティクス副社長 川村貞夫

【第1部 2025年度活動報告 ニーズ情報提供】

13:05-13:35 第1回食品製造の総括 日本惣菜協会 AI・ロボット推進イノベーション担当フェロー 荻野 武

13:35-14:05 第2回ロボットSIerの総括 日本ロボットシステムインテグレーター協会 参与 小平紀生

14:05-14:35 第3回土木建設ロボットの総括 立命館大学/チトセロボティクス副社長 川村貞夫

14:35-15:05 第4回リサイクルの総括 パナソニックR&Dセンターシンガポール Mダイレクター 安藤 健

15:05-15:15 休憩

【第2部 シーズ情報提供】

15:15-15:45 基盤モデル・生成AIによるロボット作業学習の高度化 奈良先端科学技術大学院大学 教授 松原崇充

15:45-16:15 小コストながら機能性の高いロボットハンド：AI活用に適した設計への展望 金沢大学 教授 渡辺哲陽

16:15-16:45 ロボットの力制御：論点と要件の整理 広島大学 教授 菊植 亮

16:45-16:55 来年度の活動・クロージング 芝浦工業大学 教授 吉見卓

【懇親会】

17:00-18:30 懇親会